

日本 J/24 クラス協会議事録

日時： 2015 年 1 月 17 日（土） 12：00～16：30

場所： 和歌山セーリングセンター

出席者：（敬称略）

関東（松本・上松・舘）、東海（横田）

関西（桂・岩出）、九州（高野・白濱）

事務局（室橋）

1. 会長選出までの議長として室橋が選出されました。

① 理事会全員出席で理事会成立・開会

② 規約第 13 条に伴い、各支部理事の再任及び新任の確認と、活動状況の報告

(a) 関東支部

松本・上松 再任

首藤の任期満了に伴う退任のため、舘が関東フリートの新理事に新任

フリートレース年 7 回、春・夏・秋 レガッタ 3 回

(b) 九州支部

高野・白濱 再任

フリートレース年 9 回、ミッドウィンター 2 月 28 日～3 月 1 日

(c) 関西支部

桂・岩出 再任

須磨でのフリートレース年 9 回

(d) 東海地区

横田 再任

2. 規約第 13 条に伴う、会長及び各担当理事の選出

① 議長より松本の会長再任の案が出され、満場一致で松本が選定されました。

② ここで、規約 21 条 5 により議長に松本が選出されました。

③ 議長より、各役職者の選定案が出され、下記の通り新体制が整ったことを確認し、決議されました。

会長 松本

副会長 桂

会計担当理事 舘

広報担当理事 上松

計測委員長 高野

事務局 室橋

監事 近藤

3. 会計報告

- ① 事務局より 2014 年収支決算案の報告がなされ、これを決議・承認。
監事に諮った後、2015 年総会に提出する。
- ② ロイヤリティがの\$25 から\$35 への値上げと為替変動（円安）に伴い、現状の 3000 円から 4500 円への値上げすることを決議。
後日、事務局より各セールスカーへ案内を送信することとする。

4. JSAF 登録システム変更に伴う協会の対応

- ① JSAF 会員登録システムが 2015 年度から変更になるのに伴い、現状の協会の対応も変更。
 - (a) 現在は、協会事務局を通して JSAF 会員登録・会費納入ができるようにしていたが、これを直接 JSAF 本部への登録をしてもらうこととする。
 - (b) この変更に伴う案内を、協会 HP へのせるとともに、HP システムの変更を行う。
- ② この変更に伴い、協会事務局を通しての JSAF 登録費 7000 円を 6500 円とする。

5. 全日本選手権

- ① 2014 全日本報告
ホスト国、JSAF 外洋東海等の協力と天候にも恵まれ、全体的には成功裡に終わったが、メディアへのアプローチをもっと計画的にしていけばよかった。
- ② 2015 全日本
 - (a)本選 2015 年 11 月 21 日～23 日 於：和歌山セーリングセンター
計測 2015 年 11 月 14 日～15 日と 20 日
 - (b)大会運営・計測
 - ・人員配置、運営方法、計測方法等 2016 年ワールドを想定した形（屋内計測検討要）で行う。
 - ・IJCA より、チームリーダー候補の招聘。
 - ・海外チーム参加の早期交渉。

6. ワールド関連

- ① 2015 年ドイツ/ボルテンハーゲンへの参加状況
 - ・2014 全日本選手権上位 6 チームに、参加の状況を問い合わせたところ、不参加を表明しているチームが出ているため、その他のチームにも問い合わせを行う。
- ② 2016 年ワールド
 - (a)計測
 - ・現在協会が所持している計測治具が、計測方法の変更や治具自体の劣化が見られるため、2016 ワールド及び将来的なものもみすえ、新しくしていく方向で、見積もり及び作成方法・業者を選定していく。・JSAF への計測委員登録を行う。
 - ・上記計測委員で資格が伴わない者は、できる限り速やかに JSAF 認定の講習を受

けてもらう。夏までに人数把握要。

- ・計測パートは、セール、キール、スパー、艇体重量で4班体制が望ましい。
- ・フル対応（高野、畠山）、セミ対応（松本、桂、吉國、横田）。
- ・計測員6人+バイト6～8名。

(b)2016 ワールド 役職者等について

下記案にて、交渉する。

主催団体： NPO 法人和歌山セーリングクラブ

大会委員長： 松本浩司

大会事務局長： 中村和哉

レース委員長： 鈴木国央

プロテスト委員会： IJCA よりの招聘と国内より田中正昭

計測委員会： ティムウィンガー

(c)後援・スポンサー

・JAL の協力はとりつけているが、さらにスポンサーをつのるために、大会資料を作成する。(関東フリートで検討)

(d)JSAF との協力方法を探っていく。

(e)HP の構築

(f)レースでのマリン VHF 使用導入に向けての、準備。

(g)チャーター艇

- ・和歌山セーリングセンターでは、現時点で7艇を用意。
- ・今後も、各支部との連携をもって、準備をすすめていく。

7. 2016 年以降の全日本選手権開催地及びワールド参加のクオリファイについて

① 開催地

(a)2016 年全日本選手権はワールド 前哨戦という意味も含め、和歌山セーリングセンターにて行う予定でいたが、同月に長い休暇がとりづらい選手が多い。

(b)ワールド 前哨戦は、全日本の前週にオープンカッタを独自に開催するものとし、全日本選手権は別に開催する方がいいのでは。

(c)2016 年の全日本の開催地が和歌山から変更となると、開催ロケーションでは関東開催になるので、関東フリートに諮る必要あり。(例えば 2016 年 11 月に開催が可能かどうか等)。

② ワールドクオリファイ

全日本選手権は翌年のワールド 参加クオリファイの意味合いも含んでおり、全日本参加がワールドクオリファイの獲得の前提になっているが、参加艇を増やし J/24 クラスの振興を図るため、日本開催のワールドをオープンイベントにする案もある。このクオリファイは IJCA の決議なので IJCA に確認する必要あり。IJCA の決議が得られれば、日本でのクオリファイカッタとして、関東地区のスプリングカッタ及び関東選手権、九州地区のワ

ウィンター選手権、関西地区の関西選手権（仮）を候補としたい。

8. その他

- ・ワールドエントリーフィの PAYPAL 利用の確認。
- ・計測用スタンプ及びシールは J24 協会予算化。今年はサイン対応とし来年以降はスタンプ対応へ。

以上